



今年度も人権教育の係となりました井本です。今年度初の人権だより発行が予定より遅くなってしまいました。2学期以降、頑張って発行したいと思っています。

●心のきずなを深める月間

熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」となっています。本校では1、2年生はLHRで、3年生は学年集会を開いて人権教育に取り組みました。今回は

1年生の取り組みを紹介します。1年生は「居心地のよいクラスについて考えよう」というテーマで授業をしました。左の文書を読んでどのような課題があると思いますか。

ある日の昼休み、AさんとBさんがふざけながら教室に入ってきました。

Bさん (Aさんの頭をたたきながら)
「さっきの授業、あんな簡単な問題なのに答えられないの?」

Aさん 「えへへ。」
CさんとDさんは、いつもの二人のやりとりを笑いながら見ていました。BさんはAさんの頭をたたきながら、なおもからかっています。Aさんは笑って応じながらお弁当箱を出しました。

Bさん 「あっ、今日の弁当も豪華だな。ソーセージくれよ。」
BさんはAさんの弁当箱から勝手にソーセージを取り、食べてしまいました。

Bさん 「そっちの卵焼きもオレ様に食べられたがってるぜ!しょうがないから、食べてやるよ!」
それを見ていたCさんは、大きな声で笑い出しました。それにつられて周りにいた人たちもクスクス笑っています。

Bさんは次々とAさんの弁当のおかずを食べたあげく、後ろの席で読書をしていたEさんに話しかけました。

Bさん 「おまえも食べたいだろ?味は保証しないけどな。」
Eさんは迷惑そうに顔をあげましたが、すぐにまた本を読み始めました。

Bさん 「ちえっ、うまくないから、Eは食べたくないうてよ!」
そう言って、Bさんはどこかへ行ってしまいました。この様子を見ていたDさんは、Aさんがかわいそうになり、Aさんに声をかけました。

Dさん 「Aさん大丈夫?」

Aさん 「別に。僕たち、ただ遊んでいるだけだから・・・」
Aさんはそう答えました。

生徒の意見
○Bさんは相手のことを考えず行動している。自分勝手
○Bさんにダメだよといえる雰囲気がない。
○Aさんもやめてと言った方がいい。
○Cさんや笑った人達は、Bさんよりになる。
○Eさんのように、無関心な人もいる。

みんなが過ごしやすいクラスにするために相手のことを考えて発言したり、ダメなことを注意したりできるようにしたいです。また、人間は1人では生きられないので1人1人の個性を尊重し、家族や友達、地域の方々を大切にしていきたいです。

●居心地のよいクラスになるために大切なことは?

- クラスの人とずっと会話をする。○お互いのことをよく知る。
- よくない言動をする人がいたら止める。
- 一人ひとりの個性を大切に。○お互いに理解しあう。
- 善悪の判断をできるようになる。
- お互いの気持ちを尊重する。○相手の気持ちを考えた発言や行動。
- 時間を守ったり、ルールや決まりを守る。

授業では、大切な意見がたくさん出ていました。実は、昨年も1年生では同じテーマで学習していて、やはり大切な意見がたくさん出ていました。みんなにとって「居心地のいいクラス」とするために大切なことは、実はみんなわかっています。でも、世の中からいじめや差別はなかなかなくなりません。私自身も学生時代を振り返って、いじめに加担してしまった辛い思い出もあるし、いじめられて辛い思いをしたこともあります。なんで分かっているのにできないのかをしっかりと考えることが大切なのだと思います。

授業資料の文章の中のAさんについて「やめてと言った方がいい」という意見もありましたが、クラスにCさんやDさんと一緒に笑った人達のような人たちがたくさんいると、なかなか「やめて」と言えないかもしれません。逆にDさんみたいに味方になってくれる人がいると「やめて」という勇気が持てるかもしれません。自分自身がCさんとDさんのどちら側の言動を普段とっているか、考えることも大切です。みんなで考えて「居心地のよい球磨工業高校」を目指すことができたら素敵だと思います。(文責：井本)

授業の感想です。



クラスメイトとつきあう上で、個性を認め合い、ケンカしても後で仲良くなれるクラスにしていきたい

まだ話せてない人とも話したい。みんな性格も違うので、合う合わないはあるけど、話す前からどんな人か決めつけるのではなく、相手のことを知るように努力したい。

「いじり」が「いじめ」になるのは、周りの雰囲気やその人同士の関係性だと思いました。いやな思いをしている人がいるのに誰もその行為を止めようしない雰囲気や、お互いにいやと言えない関係性がよくないと思いました。